



38th Program

第 38 回京滋奈良ハートリズム研究会プログラム

2019 年 6 月 15 日 メルパルク京都 【 5F 会議室 A 】

■ 14 : 30 開会の辞

京都大学大学院医学研究科 循環器内科 静田 聡

■ 14 : 35 ~ 15 : 35

一般演題 < I > ※一演題につき 15 分（口述時間 10 分/質疑応答 5 分）

座長 綿貫 正人 先生 【彦根市立病院】

I-A

『 左上大静脈遺残内における左心耳内 far field potential 鑑別に難渋した ultra-high resolution map を使用した 1 症例 』

大阪労災病院 循環器内科 松永 泰治

I-B

『 経皮的 ASD 閉鎖術の術前・術後に経皮的カテーテル心筋焼灼術を施行した 1 例 』

京都大学医学部附属病院 循環器内科 糀谷 泰彦

I-C

『 無冠尖から manifest entrainment が観察できた His 近傍 ATP 感受性心房頻拍の 1 例 』

奈良県西和医療センター 循環器内科 阪井 諭史

I-D

『 Marshall Bundle の関与が示唆された Ridge Related Reentry の一例 』

滋賀県立総合病院 循環器内科 灘濱 徹哉

■ 15 : 35 ~ 15 : 45 休 憩 (10 分)

■ 15 : 45 ~ 16 : 30

一般演題 < II >

※一演題につき 15 分 (口述時間 10 分/質疑応答 5 分)

座長 池口 滋 先生 【滋賀県立総合病院】

II-A

『持続性心房細動アブレーション後の心房頻拍において Advisor™ HD Grid catheter を用いた high resolution mapping が有用だった 1 症例』

大津赤十字病院 循環器内科 大西 尚昭

II-B

『Optimal Cutoff Value of Bipolar Low-Voltage in Electroanatomic Voltage Mapping during Atrial Fibrillation Rhythm』

三菱京都病院 循環器内科 川治 徹真

II-C

『心疾患の既往なく、僧帽弁輪と三尖弁輪周囲を figure of eight で旋回した心房頻拍の治療後再発に対して高位右房中隔からの通電が奏功した 1 例』

国立病院機構 京都医療センター 循環器内科 安 珍守

■ 16 : 30 ~ 16 : 35 休憩 (5 分)

■ 16 : 35 ~ 16 : 55 ミニレクチャー

『J 波症候群に対するキニジンの有用性：多施設共同研究の提言』

京都大学大学院医学研究科 循環器内科 静田 聡

■ 16 : 55 ~ 17 : 55 特別講演

座長／ 京都大学大学院医学研究科 循環器内科 静田 聡

『ブルガダ症候群：本当にやばい症例を予測できるか？』

堀江 稔 先生

滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授

■ 18 : 00 ~ 20 : 00 情報交換会・機器メーカー展示会

メルパルク京都 【5F 会議室 B】